

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きっずプラスつくば並木教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月14日		2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2026年1月14日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多くの保護者様から「こどもの特性に応じた支援が受けられている」「こどもや保護者のニーズや課題を分析したうえで支援計画が作成され、それに沿った支援が行われている」との評価をいただきました。	保護者様との面談や日々のこどもたちの様子などから一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援計画を作成し、それに沿った支援を行うようにしています。	職員間で日々情報を共有し、さらに一人一人に寄り添った支援が行えるようにしていきます。また、職員同士が連携し、研修等を通して専門性向上に努めていきます。
2	「安心感をもって通所している」「こどもが通所を楽しみにしている」という声が多く寄せられました。	安全面への配慮と温かい雰囲気づくりにより、こどもたちが安心して過ごせる環境を整えています。	活動スペースや時間を用途に応じて分けることで、落ち着いて過ごしたいこどもにも配慮した安全な環境づくりを行っています。
3	「教室だけでなく公園などで体を動かす機会が多い」といったご意見を多くいただきました。	当事業所では、室内活動に加えて公園等での戸外活動を積極的に取り入れています。広い空間で思いきり体を動かすことで、体力の向上だけでなく、ルールの理解や社会性の育成にもつながっています。	単なる自由遊びにとどまらず、体力づくり、ルール理解、協調性の育成などのねらいを持った活動を計画的に実施します。また、事前の危険箇所確認、職員配置の工夫、緊急時対応の再確認など、安全対策をより強化します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「日々どのような活動をしているのかわかりにくい」とのご意見をいただきました。	おやつや学習、運動遊びや自由活動など、場面ごとの写真をお送りしていましたが、活動の内容について十分伝わっていませんでした。	主に自由時間や運動遊びを中心に写真を選び、その日に行った活動内容やお子さまの様子、頑張りや伝わるようにします。また送迎時の連絡のみでなくLINEも活用し、引き続き保護者様からの質問や疑問にお応えできるようにいたします。
2	『事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアルなどが策定され、保護者への周知・説明がおこなわれている』『発生を想定した訓練が行われている』ことについて、「どちらともいえない」「わからない」とのご意見をいただきました。	災害時や緊急時の対応マニュアルを整備し、職員間で共有しておりますが、保護者の皆さまへの周知・説明が十分ではなかったことを課題として受け止めております。	災害時の連絡方法や引き渡し方法について改めてご案内するとともに、定期的に訓練の実施状況をお伝えするようにします。万が一の際にも、保護者の皆さまに安心していただけるよう、情報共有の充実にも努めてまいります。
3	『家族支援プログラムの研修会や情報提供の機会』『父母の会などの保護者同士の交流の機会』『児童クラブや児童館・地域の他のこどもとの交流』について「おこなわれていない」「よくわからない」とのご意見をいただきました。	当事業所では父母の会の企画・開催は現在行っておりません。その主な理由としては保護者の皆さまの就労状況が多様で日程調整が難しいことや、ご家庭ごとにニーズや課題が異なり集団形式よりも個別相談の機会を重視してきたことなどが挙げられます。	父母の会や保護者同士の交流の機会については「不要」とのご意見もあったため、ニーズについても検討し、個別面談や送迎時の情報共有などを通しての保護者支援を継続してまいります。当教室以外のこどもとの交流についてはこどもたちの現状や課題を踏まえ必要に応じて計画していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	きずっプラスつくば並木教室（児発）					公表日	2026年3月1日		
					利用児童数	4名			
						回収数	3名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3			・広い室内で子どもたちものびのびと自由に活動できていると感じている。	・子ども達の状態など必要に応じて交流センターや公園に出かける等、活動の場所を工夫している。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2		1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2			1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3						
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				・職員間で日々情報共有し、さらに一人一人に寄り添った支援ができるようにしていく。また、研修等を通して専門性向上に努める。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			1			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1		2		・家族支援プログラムや研修などがあれば情報提供していく。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1		2		・ニーズについても検討し、個別面談や送迎時の情報共有などを通して家族への支援を継続していく。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3							

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3				・災害時の連絡方法や引き渡し方法について改めてご案内するとともに、定期的を実施している訓練の状況をお伝えしていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3				・「きっずプラス、すき」「はやくいきたい」と通所を楽しみにしている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	きっずプラスつくば並木教室（児発）
------	-------------------

公表日 2026年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・こども達の状態など必要に応じて交流センターや公園に出かける等活動の場所を工夫している。	・安全の確保の為、事前の危険箇所確認や職員配置の工夫など、職員間の打合せをさらに密にする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・こどもの状態に応じて職員配置を変えるようにしている。	・こどもの人数や状態に応じて、職員が臨機応変に対応できるよう、日々の情報共有を今後も重ねていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・支援室内だけでクールダウンが難しい時は送迎車を使うなどして、静かに過ごせる空間を確保するようにする。	・教室内でのクールダウンのための場所の確保が課題である。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員全体で課題や支援方法が共有できるよう、職員間で話し合う場を定期的に設けている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・職員全体で課題や支援方法が共有できるよう、職員間で話し合う場を定期的に設けている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			・日々の振り返りとともに半年ごとに支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1			・地域や外部との連携をさらにとっていく必要がある
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1			・幼稚園や保育所と情報共有する機会を設けていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			・家族支援プログラムや研修などがあれば情報提供していく
4	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	1			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		・父母の会など保護者同士で交流する機会については、ニーズも含め今後の検討課題
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・毎日の子どもの様子を写真でお伝えしている。必要に応じてLINEで連絡を取っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		・地域に開かれた事業所運営に関しては今後の検討課題
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		・事業所内での訓練の機会を増やし、非常時に対応できるようにしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・家族へお伝えする機会を設けていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		・必要に応じて保護者への説明を丁寧にしていく。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	きっずプラスつくば並木教室（放デイ）					公表日	2026年3月1日				
						利用児童数	24名(実家庭数21)				
								回収数	16名(※12名)		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2			・走り回って発散できるスペースがあり、ありがたい。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		2	・送迎の時間は特に忙しそう。 ・職員の入れ替わりが多い気がする。	・送迎の時間にはお迎えに対応する職員の数が少なくなる為、こどもたちが帰り支度を終えた状態でお迎えを待てるよう準備する。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16								
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1		1	・いつも子どもに寄り添った対応をしてもらっており、楽しかったと帰って来る子どもの姿に安心している。	・職員間で日々情報共有し、さらに一人一人に寄り添った支援ができるようにしていく。また研修等を通して専門性向上に努める。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1	・教室だけでなく公園で過ごす時間などもあり、体を動かす機会が多いと思う。				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16								
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1		1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15			1					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	2	7	・合同運動会に楽しんで参加できた。				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16								
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	4	4	7		・家族支援プログラムや研修などがあれば情報提供していく。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1	1		・折に散れての話し合いはあるが、日頃からはあまりないと思う。 ・教室内での様子をよく教えてもらえ、本人の様子がわかる。	・送迎時の連絡だけでなく、活動内容の写真やLINEでのやりとりなどで日々の活動の様子が伝わるようにしていく。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15		1						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		2	4	6	・もしあったとしても、時間の確保が難しいので不要。	・ニーズについても検討し、個別面談や送迎時の情報共有などを通して家族への支援を継続していく。			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2		2						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10		1	1	・日々どうやって過ごしているのかあまりわからない。(本人に聞いてもはぐらかされる)	・主に自由時間や運動遊びについての写真を遊び、その日の活動内容や子どもの様子が伝わるようにする。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10		1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1			2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	1	2		・災害時の連絡方法や引き渡し方法について改めてご案内するとともに、定期的の実施している訓練の状況をお伝えするようにする。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7				5	・災害時の連絡方法や引き渡し方法について改めてご案内するとともに、定期的に行っている訓練の状況をお伝えするようにする。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				2	・災害時の連絡方法や引き渡し方法について改めてご案内するとともに、定期的に行っている訓練の状況をお伝えするようにする。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1				・災害時の連絡方法や引き渡し方法について改めてご案内するとともに、定期的に行っている訓練の状況をお伝えするようにする。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				・先生や環境に慣れ安心して通っている。 ・友達との関わりも増えたようで教室であったことを話してくれる。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			・イベントやお出かけが多く楽しそう。普段から楽しませてもらっている。 ・毎日楽しみに通所し、楽しかったと帰ってくる。 ・行き渋ることなく好きな遊びをしたりお出かけしたり、とても楽しんでいる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	3			・とても満足している。	・職員間で日々情報共有し、さらに一人一人に寄り添った支援ができるようにしていく。また研修等を通して専門性向上に努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	きっずプラスつくば並木教室（放デイ）				公表日	2026年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・子ども達の状態など必要に応じて交流センターや公園に出かける等活動の場所を工夫している。	・安全の確保の為、事前の危険箇所確認や職員配置の工夫など、職員間の打合せをさらに密にする。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・子どもの状態に応じて職員配置を変えるようにしている。	・子どもの人数や状態に応じて、職員が臨機応変に対応できるよう、日々の情報共有を今後も重ねていく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・支援室内だけでクールダウンが難しい時は送迎車を使うなどして、静かに過ごせる空間を確保するようにする。	・教室内でのクールダウンのための場所の確保が課題である。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・定期的な職員会議だけでなく話しやすい雰囲気を作り、意見などの把握ができるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員全体で課題や支援方法が共有できるよう、職員間で話し合う場を定期的に設けている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・職員全体で課題や支援方法が共有できるよう、職員間で話し合う場を定期的に設けている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			・日々の振り返りとともに半年ごとに支援計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			・自分で選択できるよう自由な活動の時間を設け、選択が難しい場合には選択肢を示すような支援を行っている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			・必要に応じて送迎時に話したり、電話したりなどして学校への確認を行っている。 ・トラブル発生時などに関してはさらに情報の共有に努めていきたい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		・家族支援プログラムや研修などがあれば情報提供していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		・地域に開かれた事業所運営に関しては今後の検討課題。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			・事業所内での訓練の機会を増やし、非常時に対応できるようにしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・家族へお伝えする機会を設けていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			・必要に応じて保護者への説明を丁寧にしていく。	